



HUMAN RIGHTS & PEACE 第267号

人権と平和は
21世紀のキーワード

〒720-0061 福山市丸之内1-1-1
TEL 924-6789 FAX 924-6850

jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp

2020ふくやま人権・平和フォト作品展 …ふれあい・ほのぼの・なかよし・よろこび・たすけあい… 11月29日（日）～12月27日（日）



【最優秀賞(福山人権啓発企業連絡会会長賞)】題名「平和への願い」伊藤栄夫さん



【優秀賞(人権部門)】
題名「いい老夫婦」池田 守さん



【優秀賞(平和部門)】
題名「春風に誘われて」島田 克さん

人権週間（12月4日～10日）の期間中、市民のみなさまが気軽に参加できる行事として始まった「ふくやま人権・平和フォト作品展」も、今年で14年目を迎えました。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各地域の行事が中止となり、撮影機会も失われたものの44枚の作品が寄せられ、先般、宮宗孝明さん（福山市老人大学写真科常任講師）を審査委員長とする5名による審査会を開催し、最優秀賞（福山人権啓発企業連絡会会長賞）、優秀賞（人権部門・平和部門）、入選（人権部門・平和部門）、佳作など各受賞作品を選考しました。

宮宗審査委員長から、『写真は説明があるのが写真ではない。撮る人が楽しんで撮ることが大切である。子どもの表情から平和への願いを感じる写真が多くある。どの作品も、撮影者の人権・平和への想いが強く伝わる作品である』との講評がありました。みなさん、「ふれあい・ほのぼの・なかよし・よろこび・たすけあい」を感じる作品展に、ぜひご来場ください。

【入選（人権部門）】



題名「おねえちゃんと
小さなぼくの思い出」
鳴坂規子さん



題名「ありがとう」岡 泰子さん



題名「仲良し夫婦 見習います」
新田千恵さん

【入選（平和部門）】



題名「仲間」徳重直美さん



題名「バラも応援」牧本敏秀さん



題名「平和の島」大井千賀さん

【佳作】



題名「しあわせの音色」瀧口 誠さん



題名「花びらを追って」藤井満由美さん

2020 ふくやま人権・平和
フォトコンテスト表彰式
日時：11月29日（日）
午前10時～
場所：福山市人権平和資料館

国際連合は、1948年12月10日、第3回総会において、すべての人と国が守るべき基準としての「世界人権宣言」を採択しました。

多くの命を奪い、たくさんの悲劇をもたらした二度にわたる世界大戦を深く反省し、もう二度と繰り返さないために、国境を越えて、皆がお互いに自分と同じ人間だと認めて、すべての権利を大切にしなければならないと、意見が一致したのです。

しかし、「宣言」から72年を経た現在も、世界から戦争はなくなり、たくさんの命が奪われ、さまざまな差別事件や人権侵害はあとを絶ちません。

国連は、世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と定めています。

日本においても12月4日から10日までを「人権週間」として人権の大切さを訴える取り組みを行っています。